

消防局

<予算額>

問合せ先:庶務課 223-2501 内) 48101

17,874,739千円

(対前年度比: +4.2%)

<主な事業>

消防力の総合的な強化

防災拠点としての整備

914,688千円

○東京ヘリポート内にある航空隊庁舎を改築し、ヘリコプター活動拠点としての機能強化を図ります。

(29年度新庁舎完成予定、29~30年度旧庁舎解体予定)

○消防訓練センターにある主訓練塔の機能強化及び各種訓練施設の整備を行い、消防隊等の災害対応力の向上を図ります。

(29年度主訓練塔完成予定)



消防訓練センター 主訓練塔

消防指令体制の整備

1,392,515千円

○安定稼働を確保するため、119番通報を受ける指令システムを更新します。あわせて、大規模災害発生時の通報受信体制の強化や災害発生場所をより迅速に特定するための機能強化などを行います。



消防指令センター

消防団活動の充実強化

207,864千円

○消防団員が災害・訓練・警戒活動や市民への訓練指導を行う際に着用する活動服等の個人装備品や、消火活動を行う際に必要となる資器材等を貸与・配置します。

○消防団員が災害現場において、消防団本部と消防指揮本部との迅速な情報共有を可能にするMCAデジタル無線機を引き続き整備します。

(29年度全消防団車両(54台)に配備完了予定)

○通常の装備品に加え、風水害等の災害現場での安全確保や救助活動に使用する救命胴衣等を貸与します。

○消防団活動補助金の算定方法を見直し、さらに円滑な活動が行えるよう、支援を充実します。(拡充)



消防団員の消防訓練

消防庁舎等の整備

750,227千円

○消防庁舎の防災拠点機能を強化するため、麻生消防署王禅寺出張所について、施設機能の見直しや充実を行い、30年度に予定している救急隊の増隊にあわせ、消防隊と救急隊の2隊が運用可能な庁舎として整備を行うとともに、老朽化対策として、当該建物の長寿命化工事を実施します。(拡充)

消防艇の整備・維持管理

29,730千円

○就航後27年が経過した消防艇「第5川崎丸」の老朽化対策として、海上や沿岸での災害に対応できる消防ポンプ、高所への消火活動が可能な伸縮放水塔、ヘリコプターと連携した救助・救急活動を実現する多目的スペース等を有する大型の消防艇に更新し、川崎臨海部の防災体制の向上を図ります。(新規)
(29年度基本設計、30年度建造予定)



第5川崎丸による消火活動

医療供給体制の充実・強化

救急活動体制の向上

48,167千円

○応急手当講習会の開催を民間に全面委託することで、閉庁日(土日祝日)の開催を実現し、市民により多くの受講機会を提供しながら、効率的・効果的な市民救命士の養成に向けた取組を推進します。
○緊急性が無く医療機関までの交通手段が無い場合に、民間救急等の紹介を行うコールセンター事業等により、救急車の適正利用を推進します。



救命講習会

救急救命士の養成

58,216千円

○救急隊員による救命効果の向上を図るため、医師による指導・助言及び活動内容の検証や教育体制を整備し、救急救命士が行う救命処置の高度化に向けた取組を推進します。
・気管挿管(肺に酸素を送るチューブを挿入する行為)
・低血糖傷病者に対するブドウ糖の投与
・心肺停止前の傷病者に対する静脈路の確保及び輸液(乳酸リンゲル液)の投与等



救急救命士による救急救命処置

○救急需要の増加に対応するため、救急救命士を計画的に養成し常時乗車体制を確保します。また、30年度に麻生消防署王禅寺出張所に救急隊を1隊増隊し、現場到着時間の短縮及び救命効果の向上を図ります。

※表内の図は完成予定のイメージです。

教育委員会事務局

<予算額>

問合せ先:庶務課 200-3260 内) 50101

95,332,390千円

(対前年度比: +93.0%)

<主な事業>

「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進

キャリア在り方生き方教育の推進

5,349千円

○全校で実施している「キャリア在り方生き方教育」について、より教育効果を高める取組を推進するとともに、高等学校における指導方法の研究を進めます。

確かな学力と豊かな心の育成に向けた取組

584,550千円

○一人ひとりの「生きる力」を伸ばしていくため、学ぶ意欲・態度を育むことを大切にしながら、「確かな学力」「豊かな心」を育てる取組を推進します。

- ・タブレットPCやノートPCを用いたオンライン学習サービスの導入に向け、モデル校4校(小学校2校、中学校2校)において活用方法の研究と効果検証を実施(拡充)
- ・学習指導要領の改訂に備え、児童生徒の異文化を受容する態度やコミュニケーション能力の育成を目的として配置するALT(外国語指導助手)を74人から81人に増員(拡充)
- ・児童が読書や学習でいつでも学校図書館を活用できるよう、モデル的に学校司書を配置している小学校を14校から21校に拡大(拡充)

中学校完全給食の全校実施

2,007,597千円

(28年度補正予算対応 2,845,380千円)

○安全・安心で温かくおいしい中学校完全給食の実施に向けた取組を推進します。

○小中合築校方式(2校)及び自校調理方式(2校)に続き、センター方式の運営開始(南部9月、中部・北部12月)により、市立中学校52校全校で中学校完全給食を実施します。(拡充)【補正含む】

○中学校完全給食を活用したさらなる食育を推進します。

○川崎らしい特色ある『健康給食』を提供します。



中学校完全給食の献立例

一人ひとりの教育的ニーズへの対応

児童支援コーディネーターの専任化

212,785千円

○いじめや不登校等の未然防止と早期発見・早期対応を図るため、校内支援体制の核となる児童支援コーディネーターを小学校全校(113校)で専任化します。(拡充)

特別支援教育の充実

498,523千円

○特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し、適切な教育的支援を行うため小・中学校に配置している特別支援教育サポーターを、高等学校にも配置します。(拡充)

奨学金の支給による支援

73,443千円

○能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な方に高等学校奨学金を支給し、また大学奨学金の貸付を行うことで、意欲・能力のある生徒・学生を支援します。

安全で快適な教育環境の整備

学校安全対策の推進と教育環境の整備

723,003千円

(28年度補正予算対応 1,239,960千円)

○地域社会全体で学校の安全確保に取り組み、防犯力の向上や防災教育の充実により、総合的な安全対策を推進します。また、災害時における校舎等の安全や特に利用者のニーズの高い教育環境の確保に向けた整備を行います。

- ・教育施設の特定天井改修工事（3校）等の非構造部材耐震対策や灯油式発電機整備（40校）等の各種防災機能の強化【補正含む】、学校擁壁の改修を実施（拡充）
- ・学校のトイレ快適化（7校、31年度までに全小中学校において1系統のトイレの快適化を実施）やエレベータ整備（5校）を実施【補正含む】

学校施設長期保全計画の推進

1,213,566千円

(28年度補正予算対応 12,882,809千円)

○「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備と予防保全を併せて実施し、より多くの学校の教育環境の改善と長寿命化による財政支出の縮減を図ります。（拡充）

- ・実施校数 校舎24校 → 32校、体育館37校 → 37校【補正含む】

児童生徒の増加に対応した教育環境の整備

3,557,716千円

(28年度補正予算対応 1,208,591千円)

○良好な教育環境を確保するため、学校の新設、校舎の増改築等を実施し、児童生徒の増加に対応します。

- ・井田小学校、塚越中学校、下小田中小学校【補正含む】の増築工事の実施
- ・小杉駅周辺地区における小学校新設工事の着手（30年度買取予定）
- ・新川崎地区における小学校新設に向けた取組

学校の教育力の向上

県費負担教職員の市費移管と学校教育の充実に向けた取組

56,043,244千円

○県費負担教職員の指定都市への権限移譲を契機として、より一層の学校の実情に即した教職員配置を目指し、学校教育の充実に向けた取組を進めます。（新規）

（県費負担教職員の権限移譲に係る具体的な取組については、91ページ参照）

家庭・地域の教育力の向上

地域の寺子屋事業の推進

48,815千円

○地域ぐるみで子ども達の学習をサポートする「地域の寺子屋」を随時開講します（30か所→56か所）。また、担い手である寺子屋先生の養成を図ります。（拡充）

市民の文化芸術活動の振興

文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりの推進

510,358千円

○歴史や文化の理解を深めるため、重要な文化資源である文化財の保護・活用に向けた取組や橘樹官衙遺跡群の保存・活用を推進するとともに、各博物館施設の魅力向上につながる事業を展開します。

- ・日本民家園開園50周年にあわせた船越の舞台の客席整備及び記念事業の実施（拡充）

日本民家園（江向家住宅：国重文）



会 計 室

<予 算 額> 問合せ先:審査課 200-3325 内) 49101

114,540千円 (対前年度比:△2.1%)

<主な事業>

会計事務の適正かつ効率的な管理運営 114,540千円

- 会計管理者の補助組織として、支出負担行為に関する確認、現金、有価証券及び物品の出納保管並びに決算の調製等を行います。本市の支出が適正に行われるよう審査するとともに、公金を確実かつ有利に保管・運用することで、本市の公金の適正な管理に取り組みます。
- 事務負担の軽減及び費用の節減を図るため、庁内で共通して使用する備品及び消耗品を一括して調達し、必要とする部署へ払出しを行います。

市 民 オ ン ブ ズ マ ン 事 務 局

<予 算 額> 問合せ先:事務局 200-3693 内) 55911

79,323千円 (対前年度比:△0.0%)

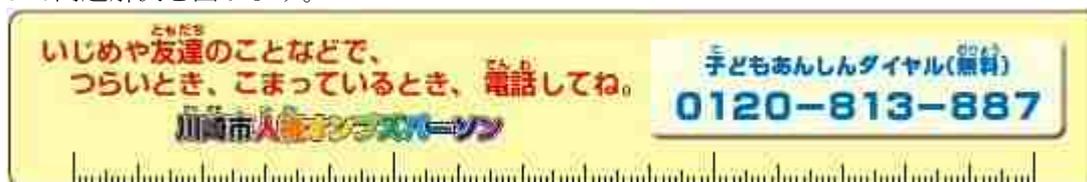
<主な事業>

市民オンブズマン制度の運営 39,069千円

- 市民からの市政に関する苦情申立ての処理や市政の監視などを、市民の立場に立って行うとともに、必要に応じ、市長や市の関係機関に勧告・意見表明などを行い、行政の改善に努めます。

人権オンブズパーソン制度の運営 40,254千円

- いじめ、虐待など子どもの権利の侵害や、DV（ドメスティックバイオレンス）、セクハラなど男女平等に関わる人権の侵害について相談や救済の申立てを受け、関係機関などと連携・協力して問題解決を図ります。



人権オンブズパーソン相談カード

選挙管理委員会事務局

<予算額>

問合せ先:選挙課 200-3423 内) 56102

665,933千円 (対前年度比: +1.9%)



選挙マスコット
「イックン」

<主な事業>

市長選挙等の適正な執行

385,837千円

○4年に一度執行される市長選挙等の適正な管理執行を行います。

啓発事業の推進

2,462千円

○選挙に関する講演会の開催、区民祭等での啓発運動、市内学校の生徒会役員選挙への協力、高校生・中学生への啓発チラシの配布等、主権者教育と連携した若年層啓発を中心に明るくきれいな選挙、投票総参加のための取組を進めます。

当日投票システムの導入

20,769千円

○投票所での受付を電子化する当日投票システムを導入し、受付時間を短縮することにより選挙人の利便性の向上等を図ります。(新規)

監査事務局

<予算額>

問合せ先:行政監査課 200-3437 内) 55710

164,354千円 (対前年度比: △2.7%)

<主な事業>

監査機能の強化

1,117千円

○監査及び決算審査における財務諸表等の確認や分析に当たり公認会計士の知見を活用することで、監査機能の質的向上と強化を図ります。また、監査及び決算審査で検出された問題点の確認や財務分析へのアプローチに公認会計士との討議を取り入れ、職員の専門性を高める取組も進めます。



決算審査意見書等の市長提出

人事委員会事務局

<予算額>

問合せ先:調査課 200-3341 内) 55811

120,606千円 (対前年度比: △2.6%)

<主な事業>

職員採用試験等の実施

20,378千円

○職員の採用や昇任に係る競争試験及び選考を実施します。また、職員採用案内パンフレットの作成や職員採用説明会の開催、就職ポータルサイトへの掲載や技術系職種向けの広報動画を配信するなど、様々な広報活動を通して多様な資質と能力をもった人材確保の取組を推進します。



議 会 局

<予 算 額>

問合せ先:庶務課 200-3366 内) 53101

1,666,066千円

(対前年度比:△2.7%)

<主な事業>

議事運営の取組

28,949千円

- 本会議、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の議事運営並びに会議録等の作成を行います。
- 会議録検索システムの運用及びインターネット上への公開を行います。

議会広報の充実

47,010千円

- 議会に対する関心と理解を高めるため、議会の活動の概要を広く市民にお知らせします。
 - ・広報紙「議会かわさき」の発行(年4回)
 - ・「夏休みこども議場見学会」の実施
- 「市民に身近な開かれた議会」の一層の推進を図るため、本会議等の模様をインターネット等で中継します。
 - ・インターネットによる本会議、予算審査特別委員会、決算審査特別委員会、常任委員会及び議会運営委員会の生中継・録画中継の実施
 - ・各区役所でのモニター中継の実施
 - ・スマートフォン及びタブレット端末に対応した生中継・録画中継の実施
- テレビ番組を利用して、議会活動のPRを行います。
 - ・「議長・副議長 新春対談」(1月放送)
 - ・「市議会座談会～予算議会を前に～」(2月放送)



インターネット議会中継
(本会議)



インターネット議会中継
(常任委員会)



夏休みこども議場見学会

文書共有システムの導入

6,518千円

- 文書共有システムの導入により、常任委員会等の会議においてタブレット端末を活用し、ペーパーレス化を進めるとともに、効率的な議会運営を推進します。(新規)

議員報酬の支給等

1,015,143千円

- 市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給等を行います。

7 区 共 通 予 算

区政総務費・戸籍住民基本台帳費では、区役所等庁舎・設備の整備、道路施設等の大規模補修、区役所の各区域にまたがる事業に関する予算を計上しています。

ここでは、それらの主な内容について御紹介します。

<予 算 額>

7,055,047千円 (対前年度比：+9.2%)

<主な事業>

問合せ先：市民文化局庶務課 200-2255 内) 26101

共に支えあう地域づくりに向けた区役所機能の強化

区役所改革の推進

580,470千円

(28年度補正予算対応 47,200千円)

- 区役所庁舎等の老朽化状況を踏まえ、多摩区役所生田出張所の整備に向けた検討を進めます。(新規)
- E S C O事業を導入して麻生区役所の空調設備等を更新するなど区役所庁舎等の長寿命化に向けた取組を推進します。
- 市民同士のつながりやコミュニティづくりを進めるとともに、市民の主体的な活動を促進する取組を進めます。
- 川崎アゼリア地下街にある行政サービスコーナーをJR川崎駅北口自由通路に移転し、外国人も含めた利用者に本市の観光案内・魅力発信を行う複合施設として開設します。(拡充)



川崎デザインスクールにおけるワークショップ

戸籍・住民票等の証明書交付事務の利便性向上

1,510,514千円

- マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアにおける戸籍・住民票等の証明書の交付(コンビニ交付)の普及促進を図るとともに、コンビニ交付に必要なマイナンバーカードの普及をあわせて進めます。また、関係法令の改正にあわせてマイナンバーカード等への旧姓の併記を可能とするよう、システム改修等を行います。(拡充)

問合せ先：建設緑政局庶務課 200-2785 内) 38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修

653,851千円

- 市内7区の道路に対して適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。
 - ・さいわい歩道橋エレベーター改修工事等

公園緑地・街路樹の維持管理

1,603,770千円

- 市内の主要な公園、駅周辺の路線等の街路樹に対して安全・安心で快適に利用いただけるよう維持します。
 - ・公園内施設清掃の充実や公園の樹木剪定等
 - ・大きく育った街路樹の健全度調査や剪定の実施等

<予算額>
問合せ先:総務課 201-3121 内) 61110
1,521,583千円

(対前年度比: +0.8%)

<主な事業>
地域資源を活かしたまちづくりの推進
23,773千円

○地域団体等との協働により、東海道川崎宿の歴史・文化資源を活かしたイベント(スタンプラリーなど)を開催し、地域の回遊性の向上につなげるとともに、東海道沿いにおける浮世絵のフラッグやトランスボックスの掲出エリアの拡大、新たな街歩きの魅力につながる歴史解説板の新設など、江戸風意匠の街並みを推進し、川崎区のイメージアップとまちの賑わいを創出します。(拡充)


**東海道周辺をめぐる
スタンプラリー**

○「富士通スタジアム川崎」でのアメリカンフットボールの試合への区民招待等の実施により、地域のスポーツ資源の魅力を発信するとともに、地域スポーツ団体等と連携した綱引大会を開催し、区民にスポーツと触れ合う機会や地域交流の場を提供します。

区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進
6,461千円

○区の花「ひまわり」「ビオラ」、区の木「銀杏」「長十郎梨」について、植栽キャンペーンや銀杏に関するイベントを行うなど、区民への周知・浸透を図り、区のイメージアップや地域緑化の推進、環境意識の向上に取り組みます。

○田島支所内「四季の庭 たじま」においてガーデニング講座などを実施します。また、町内会等と連携し、小学校の登下校時間に合わせて、プランターの手入れをしながら子どもの見守りを行い、地域安全の一助とする活動に取り組みます。

高齢者等が安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進
4,510千円

○声を掛け合えるような顔の見える関係をつくり、共に支え合う地域包括ケアシステムの構築に向けて、「みんなでつながろう!ちいきの輪」を合言葉に、イベントの実施や「見守り・助け合い標語」グッズの活用による普及啓発を行います。


地域の縁側活動

○誰もが気軽に立ち寄り、おしゃべりやお茶を飲みながら交流ができる「地域の縁側」づくりを推進するため、地域の縁側活動を行っている団体との協働による普及啓発イベントの実施、縁側連絡会の開催、縁側活動の団体への運営支援などを行います。

○誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指し、高齢者等が気軽に出掛けられる場を掲載した「シニアのためのお出かけ情報」を改訂します。また、健康づくりサポーター等と共に、「ウォーキングガイドブック」を改訂・活用し、介護予防・健康づくり活動の普及啓発を行います。


**シニアのための
お出かけ情報**

**ウォーキング
ガイドブック**

地域における子ども・子育て支援の推進

9,995千円

- 不登校、ひきこもりなどの思春期における様々な問題を抱える子どもと保護者が、安心して利用し相談できる居場所「こどもサポート旭町」を週4日開所し、社会参加する力を身に付けるための支援を行います。
- 横浜市鶴見区、幸区の一部を含めた「川崎区周辺子育て施設マップ」（日本語、中国語、英語）を作成し、保護者の状況に応じた情報提供を行い、待機児童解消に向けて取り組みます。
- 川崎区内に在住、在学及び在園する日本語を母語としない子どもやその保護者のため、通訳・翻訳の支援を行います。



保育所における子育て支援

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

4,864千円

- 地域防災力の向上を目指し、小・中学校における避難所開設・運営訓練、津波避難訓練、外国人市民を対象にした防災訓練、隣接する横浜市鶴見区、幸区と締結した包括協定に基づく連携訓練等を実施するとともに、地域・関係機関等と連携を図り、実践的な区総合防災訓練を実施します。
- 区民・事業者・行政で構成する区危機管理地域協議会において、地域防災の課題等を検討するとともに、区災害対策本部の強化に向けた訓練・研修を実施します。



外国人市民を対象とした
防災訓練

交通安全と自転車対策の推進

3,867千円

- 川崎区は自転車利用者が多く、駅周辺における放置自転車が歩行者の通行の妨げになっているため、小学生の絵画を印刷した啓発シートを路面に貼付し、放置自転車の抑制に取り組みます。
- 新入学児童への交通安全の意識付けを行うとともに、地域、家庭、学校が一体となって子どもを交通事故から守る意識向上を図るため「新入学児童交通安全絵のコンクール」を開催し、全ての作品をギャラリーバス（交通局）などに掲示することで広く区民に交通安全の啓発を行います。



交通安全絵のコンクール
表彰式

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

749,549千円

- 川崎区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

188,167千円

- 川崎区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 556-6602 内) 62110

917,137千円

(対前年度比:△3.0%)

<主な事業>

地域資源を活かしたまちづくりの推進

24,912千円

○市制100周年に向けて、新たに寄附金・募金制度を創設し、梅の植樹を行う等、市民協働により梅林を復活させ、地域への愛着と歴史文化の伝承など新たな魅力発信を目指す「御幸公園梅香(うめかおる)事業」の充実を図ります。(拡充)

・梅の植樹や梅林散策路等の基本設計 等

○企業や市民団体等と連携を図り、「新川崎・創造のもり」での科学技術体験教室の開催や「ミュージア川崎シンフォニーホール」でのコンサートの開催など地域特性を活かしたまちづくりを推進します。



御幸公園梅香事業

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進

7,997千円

○高齢者等の見守り体制の構築及び関係機関の連携を目的とする「幸区ご近所支え愛モデル事業」の実施地区を拡大し充実を図ることにより、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる、地域包括ケアシステムの構築を目指します。(拡充)

・推進会議の開催による関係機関との連携強化

・全区域展開に向けたモデル実施地区の拡大(8地区 → 16地区)

・モデル事業の具体的な活動内容をまとめた事例集の作成・活用

・講演会の開催等による市民意識の醸成 等

○健康づくりに関する講座や地域に根差した活動を展開し、区民同士のつながりを強化することで、健康増進や福祉活動に関する区民の主体的な取組を支援します。

○保健福祉センターだよりや食品衛生等のリーフレット発行を通じて、区民の保健福祉に対する理解を深めます。



ご近所支え愛モデル事業
推進会議



事例集

安心して子育てできるまちづくりの推進

10,187千円

○地域全体で支援することにより、安心して子育てできる地域づくりを推進します。

・幸区子ども総合支援ネットワーク会議等による関係機関相互の連携

・「おこさまっぷさいわい」等の情報誌の発行 等

○「日吉おやこであそぼうランド」での子育て支援講座の開催など日吉合同庁舎を活用した子育て支援を推進します。

○地域ニーズに即した待機児童対策と保育の質の向上を推進します。

・川崎認定保育園リーフレットの作成

・絵本読み語り事業の実施 等



日吉おやこ
あそぼうランド

地域コミュニティ活性化の推進

8,129千円

- 大規模マンションの建設に合わせ、開発業者等を通じて町内会・自治会等の新規設立支援及び加入促進を図ります。
- 講座の開催等を通じて新たな地域人材の育成を支援し、自主防災組織や町内会・自治会等の地域活動の活性化を推進します。
- 幸区市民活動コーナーを拠点とした市民活動の支援を行い、市民活動の活性化を図ります。



市民活動交流イベント

安全で安心に暮らせるまちづくりの推進

10,387千円

- 地域防災力の強化に向け、訓練指導員の支援のもと実践的な防災訓練を実施するなど防災体制の充実や防災に関する意識の高揚を図ります。
 - ・「幸区避難所訓練マニュアル」を活用した避難所開設・運営訓練の継続実施及び訓練の実施結果を踏まえた避難所ごとの運営マニュアル作成
 - ・実践的な「幸区総合防災訓練」(年2回)を継続実施
 - ・幸区災害対策協議会を通じた関係団体(85団体)相互の連携強化
 - ・災害対策資器材の計画配備による区役所等の災害対策拠点強化等
- スタントマンが事故を再現するスケアードストレート方式の交通安全教室を開催するなど、区民の交通安全に関する意識高揚に向けた取組を推進します。
- 地域及び関係団体と連携しながら、防犯や防火などの啓発活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進します。



総合防災訓練



交通安全教室

区役所サービス向上への取組

2,134千円

- 区政情報等を広く区民へ周知する「さいわい広報特別号」を発行するとともに、市民提案に基づいた取組を推進します。
- 大規模マンション等の転入世帯への事前説明を通じて、区役所窓口の混雑緩和を図るなど、利便性の向上、満足度の高いサービスの提供を推進します。
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所職員が地域づくりをコーディネートし、地域の状況に合わせた満足度の高い区民サービスを提供します。



さいわい広報特別号

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

525,138千円

- 幸区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

56,655千円

- 幸区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 744-3122 内) 63110

1,121,902千円 (対前年度比: +0.8%)

<主な事業>

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

14,676千円

- 地域メディアで構成する「なかはらメディアネットワーク」を活用し、情報発信の充実を図るとともに、新たな媒体を活用した行政情報の発信を推進します。
- 商店街を地域コミュニティの場として活用し、各種講座や交流イベントの開催など、地域の活性化に向けた取組を推進します。
- 武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティの課題を解決するため、交流イベントや防災等のテーマに基づく取組を通じて、顔の見える関係づくりを推進します。

安全・安心なまちづくりの推進

13,855千円

- 自転車に関する交通事故を防止するため、児童・生徒及び保護者を対象にしたスケアードストレート方式による交通安全教室を年4回から5回に増やして実施します。(拡充)
- 各種防災マップや危機管理・防犯・交通安全の啓発情報を掲載した中原区の総合防災マップを民間企業との連携により、全世帯分を作成・配布します。(拡充)
- 中原区の総合的な防災力を向上させるための訓練及び災害時における避難所のスムーズな開設・運営のため、各避難所が持つ課題に応じた訓練を実施します。
- 避難所の環境改善を図るため、新たに土砂災害警戒区域を含む避難所に保温用マット等の資器材をモデル配備します。
(拡充)
- 還付金詐欺対策や地域における防犯活動の支援等、地域防犯の向上・活性化に向けた取組を推進します。
- 自転車利用のマナー啓発活動等を通して、放置自転車対策を推進します。



避難所訓練の様子

区民と協働したこども支援の推進

13,003千円

- 区内各所(7地区16か所)で開催する子育てサロンへの支援を通じて、地域における子育て支援を推進します。
- ホームページや「中原区子育てガイドブック」、「中原区周辺子育て施設マップ」等を通じて、子育てに関する様々な情報を発信します。
- 子育て支援の場を支える新たなボランティアを養成し、地域全体で子育てを応援していく体制づくりを推進します。



子育てサロン

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

2,843千円

- 「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、ケアシステムの土台づくりをさらに推進するため、中原区地域包括ケアシステム推進のためのワークショップを開催し、地域とのつながりやセルフケア意識の醸成など、地域福祉の活性化を目指します。
- 地域包括ケアシステムの「自助」を強化するため、介護予防や健康づくり、高齢期の生き方について考えるきっかけづくりとなるようなリーフレットを配布し、普及啓発を推進します。また、「互助（地域のサポート力）」の促進を図るため、高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域での見守りネットワークの構築を推進し、地域社会全体で高齢者を見守る体制づくりを進めます。



ワークショップの様子

多様な地域資源を活用したまちづくりの推進

13,883千円

- 区内に拠点をおく「かわさきスポーツパートナー」との連携による親子サッカー教室、バレーボール教室、バスケットボール教室、アメフト・フットボールの普及啓発イベント等の開催による交流機会を創出し、地域の活性化を推進します。
- 区内の中学生・高校生の運営参加による青少年吹奏楽コンサートや区内で活動するアマチュアミュージシャンなどによる音楽ライブ「In Unity」など、音楽を通じた地域間・世代間の交流を推進します。
- 学校・企業・地域等と連携し、区内小学校での「環境授業」や「エコPRイベント」等を開催するとともに、市内の環境配慮技術の導入施設などを巡る「エコバスツアー」を実施し、地域における地球温暖化防止等に向けた取組の普及・啓発を推進します。



青少年吹奏楽コンサート

区役所サービスの環境改善

3,507千円

- 武蔵小杉駅周辺の大規模な再開発や区内鉄道駅周辺の住宅開発等による転出入者の増加による区役所の各窓口における混雑緩和や待合環境の改善に向けた取組を推進します。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

443,919千円

- 中原区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

352,992千円

- 中原区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 861-3120 内) 64110

885,873千円 (対前年度比: +2.0%)

<主な事業>

地域資源を活かした魅力あるまちづくりの推進

16,630千円

- 高津大山街道周辺の歴史的・文化的な資源を保全・活用し、魅力的な空間創造と地域活性化に向けて、フォーラムや二子の渡し体験イベント等を開催します。
- 橋地区における農的資源を活用し、地域活性化を推進するため、ファーマーズマーケット「高津 さんの市」や農業体験イベント等を実施します。
- 区内の歴史・文化・自然などの地域資源のネットワーク化を図り、回遊性のある魅力的なまちづくりを推進します。また、公共サインの適切な維持・更新を行うため、広告収入を活用した管理手法を導入します。



二子の渡し体験イベント

- 「地域のこぼれ話」や古写真を収集・保存・整理し、ウェブサイト「高津区ふるさとアーカイブ」で公開するなど、高津のまちの記憶を次世代に引き継ぐ取組を進めます。

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

9,685千円

- 町内会・自治会の役割や活動を広報することにより、地域における顔の見える関係づくりを支援し、地域コミュニティの活性化を推進します。
- まちづくり活動に関わる団体へ必要な知識や情報を提供することにより、市民活動・まちづくり活動を促進します。
- 多文化交流事業や講演会の開催を通じ、高津区で暮らす外国人市民を含む区民の相互理解を図り、支え合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくりを推進します。
- 区内ものづくり資源の魅力を地域内外に発信するため、「高津区ものづくり企業マップ」を作成・配布するほか、ものづくりイベント等を通じて工場と地域住民の交流を促進するなど、地域コミュニティの活性化を図る取組を推進します。



市民活動団体紹介イベント
「高津どんなんもんじゃ祭り」

総合的な子ども・子育て支援の推進

5,552千円

- 安心して子育てができるよう、各種子育て支援講座を実施するほか、SNS等を活用して子育て情報を発信します。
- 地域の子育て関係機関が連携し、子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、地域で子育てを支えている子育てグループ等の活動を支援して、地域の子育て力の向上を図ります。
- ものづくり技術の体験を通して、子どもの興味の対象を広げ、夢を育むとともに、多様な方々との交流を通じ、子どものこころのバリアフリーを推進します。

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

3,805千円

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅医療の普及啓発及び地域社会全体で高齢者を見守る体制づくりを進めます。また、新たに区内マンションにおける「つながりづくり」に向けた取組を推進します。（拡充）
- 「高津公園体操」の普及促進や健康づくり活動団体の交流を図り、「介護予防・健康寿命の延伸」「閉じこもり予防」「見守り活動」など、支え合う地域づくりにつなげます。
- 区役所ロビーで障害者福祉施設の活動を紹介する「ふくシティたかつ」や地域イベントにおける障害者と地域との交流を通じ、こころのバリアフリーを推進します。

安全・安心なまちづくりの推進

14,792千円

- 住民相互の連携力・防災力強化を図るため、高津地区・橘地区の防災訓練を継続実施するとともに、避難所運営体制の強化を図るため、避難所開設訓練や防災講座等を実施します。また、オール高津区での災害対策を推進するため、高津区防災ネットワーク会議を継続的に開催するほか、溝口駅周辺における災害時の帰宅困難者対策の推進に向け「エリア防災計画」を策定します。（拡充）
- 交通事故を未然に防止するため、区民への啓発を目的とした交通安全キャンペーンをはじめ、中学生や高校生、地域の住民の方を対象としたスケアードストレート方式による交通安全教室などを実施します。
- 安全・安心で住みやすい環境整備を推進するため、自転車の適正な駐輪に関する広報・啓発活動を実施します。



地域における防災訓練

区民との協働で進める環境まちづくりの推進

9,803千円

- 「エコシティたかつ」推進方針に基づき、地球温暖化適応策及び生物多様性保全として、学校ビオトープを活用した環境学習・雨水循環の取組の推進、区内緑地における保水力向上や自然の賑わいの回復に向けた活動等を実施するとともに、区民への普及啓発を行います。
- 区内各所に設置している花壇・コンテナの維持管理など区民主体による花と緑のまちづくりを推進します。



自然の生態を学ぶ
「たかつ生き物探検隊」

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

395,365千円

- 高津区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

41,039千円

- 高津区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 856-3122 内) 65110

885,538千円 (対前年度比: +6.1%)

<主な事業>

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

11,625千円

- 歴史的遺産や農などの地域資源を活用し、地域を巡るウォーキングイベントの実施や、宮前区農産物直売所ガイド&マップ等の改定・配布による情報発信を行い、多様な人材の参画による地域づくりを推進します。
- 区内の和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の舞台を取り入れた「響け!みやまえ太鼓ミーティング」を開催し、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた担い手の発掘・育成につなげます。
- 区内産農産物を使ったコンテストや料理教室を開催することにより、区内産農産物の認知度を高め、地産地消を促進するための環境づくりを進めます。
- テレビ番組とインターネットでの動画配信により、区内の様々な魅力・情報を発信します。映像を通じて、身近でより伝わる広報を目指します。(新規)



響け!みやまえ太鼓ミーティング

地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

12,618千円

- 公園緑地愛護会等の設立支援・活性化等や区民と協働で樹木への手作り名札の取り付けを行うことにより、地域コミュニティの核としての公園の利活用を進めます。
- 宮前区まちづくり協議会を通じて、市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることで、区民主体のまちづくりを推進します。
- 町内会・自治会ガイドブックの配布等を通じて、地域コミュニティの形成に重要な役割を果たしている町内会・自治会の広報活動・加入促進を支援します。



区民による花壇づくり

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

8,365千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、多様な主体と連携した「宮前区民シンポジウム」やワークショップを通じた「地域の輪づくり・健康づくり」を推進します。
- 地域医療や福祉に関する区民の意識調査を地域の大学と協働で対象を拡大して実施し、区の特性に応じた地域づくりや地域医療・福祉の向上を支援します。(拡充)
- 地域活動グループとの協働や関係部署との連携により、若年層に向けた健康情報の普及啓発を行います。
- 障害者が出演するコンサートを開催し、交流と相互理解を深め、こころのバリアフリーや障害者の自立支援・社会参画の拡大を目指します。



地域のつながりワークショップ

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

9,835千円

- ホームページやソーシャルメディア、情報誌などの多様な媒体を活用して、子育てに関する情報を効果的に発信し、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。
- こどもサポート南野川における様々な課題を持つ子どもたちの居場所づくりと生活・学習支援、各種イベントの開催など、きめ細やかな子ども・子育て支援を行います。
- 地域住民が主体となって身近な公園等を活用して行われる「冒険遊び場」活動を支援し、次世代育成の場をつくることで、子どもの健やかな成長と地域コミュニティの活性化を目指します。



「冒険遊び場」活動風景

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

14,124千円

- 宮前区地域防災連絡会議の開催や、災害用簡易エアマットの配置による避難所の環境整備等を行い、地域防災力の向上を図ります。
- 町内会単位での防災訓練、避難所単位の避難所開設訓練に加えて、宮前区総合防災訓練を実施します。
- 地域防犯団体のパトロール活動や落書き消し活動の支援、交通安全教室の実施等により、安全で安心して暮らせるまちを目指します。
- 子どもから高齢者まですべての世代が安心して暮らし続けられる生活環境を創出するため、次世代を見据えたモデル事業の実施と地域主体の取組の支援を行います。



中学生等による
仮設トイレ設置訓練

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

434,716千円

- 宮前区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

64,555千円

- 宮前区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 935-3122 内) 66110

1,060,065千円

(対前年度比: +1.3%)

<主な事業>

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

23,200千円

- 多様な主体と協働し、まちの魅力の発信とイメージの向上を図り、訪れる人も住む人も楽しめる「ピクニックタウン多摩区」の取組を進めます。
- 開園50周年を迎える日本民家園を舞台としたコンサートなどを開催し、音楽を通じて多摩区の魅力発信とイメージアップを推進します。(拡充)
- スポーツに親しむ機会の提供と、優れたスポーツ選手との交流を通じて地域のスポーツ活動を促進するため「多摩区スポーツフェスタ」を開催します。あわせて、障害者スポーツの体験などにより、東京2020オリンピック・パラリンピック大会への区民の関心を高めていきます。
- 登戸土地区画整理事業の進展に伴い大きく変わりゆく登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の状況を踏まえ、ワークショップの開催などにより、まちの賑わい継承に向けた取組を進めます。



多摩区スポーツフェスタ

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

5,528千円

- 区の防災力を向上させるために「多摩区役所防災力向上方針」に基づき、訓練を実施するとともに、多摩区防災連絡会議を通して関係機関との連携を強化します。
- 自主防災組織・避難所運営会議への支援や防災セミナー・防災フェアを実施し、地域の防災力の向上を図ります。
- 地域、警察及び消防と連携して地域へのパトロール支援や防犯セミナーを実施し、安全で安心できるまちづくりを進めます。
- スタントマンが交通事故を再現するスケアードストレート方式の交通安全教室の開催や小学生から募集した交通安全標語による啓発活動により、交通安全意識の定着を図ります。

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

12,105千円

- 子ども・子育て支援団体や関係機関によるネットワーク会議を開催し、地域全体で子育てを支援する取組を進めます。
- 幼稚園・保育所・小学校職員の相互理解や交流のための連絡会、また、幼児・児童の交流活動を進め、子どもの育ちを一体的に支援します。
- 公立保育所が培ってきたノウハウと人材を活用して地域の子育て支援や民間保育所との連携・交流等を実施し、保育の質の向上を図ります。
- 公園や広場など身近にある自然環境の中で「こどもの外遊び」と地域との交流を推進し、子どもの創造力と社会性を培います。
- 地域の中で子育て中の親子が気軽に集まれる地域サロンを開催し、子育て中の親子や地域の方との交流を進め、子育て力の向上を図ります。
- 発達に不安を抱えている親子に、専門職が集団遊びや個別面接を通して係わることで、育児不安の軽減や子どもの発達を促す支援を行います。



こどもの外遊び

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進 6,863千円

- 地域の状況調査やアンケート結果等、モデル事業の成果を活かし、区内各地で地域課題を住民と共有するため新たにワークショップの開催や、多世代が交流できる場づくり等を進め、地域包括ケアシステムの土台づくりを引き続き推進します。また区内全小学校での認知症サポーター養成講座の開催を継続するとともに、中学校での開催を拡大（2校→4校）します。（拡充）
- 多様な活動団体と連携する「多摩区健康フェスタ」や食育事業等の開催により、幅広い世代の交流を促進し、健康づくりについての普及啓発を行います。
- 多摩区総合庁舎アトリウムを利用し、区内の障害者団体や作業所等の活動紹介、作業実演及び展示等を行い、障害福祉への理解と関心を促進します。



多摩区健康フェスタ

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進 14,684千円

- 地域人材育成基本方針の課題整理と、市民活動活性化に向けた新たな担い手の発掘や育成の仕組み等の検討を行い、市民の自治力を発揮して地域課題の解決を図るための取組を進めます。
- 「多摩区3大学コンサート」や知的探訪等を実施し、区内3大学と地域との交流・連携を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を3大学と連携して実施します。
- まちの課題を解決するためのプロジェクト活動や市民活動の支援につながる交流会や研修会を実施し、区民の参加と協働による暮らしやすい地域社会づくりを進めます。
- 区内大学生と連携して作成したホームページや広報物による町内会・自治会活動の情報発信、講演会等の開催により、町内会・自治会の抱えている課題の解決を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 市民団体が自主的、主体的に実施する活動を支援するため、「磨けば光る多摩事業」において提案を募集・選定し、区の事業として協働で実施します。



多摩区3大学コンサート

区の機能強化に向けた取組 5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修 429,413千円

- 多摩区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理 172,172千円

- 多摩区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。





麻 生 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 965-5106 内) 67110

858,131千円 (対前年度比: +0.7%)

<主な事業>

芸術・文化のまちづくりの推進

15,187千円

- 区内に集積する芸術関係資源や人材等を活かしながら、市民、事業者、教育機関、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指すため、芸術・文化等の情報発信やイベントの開催・支援、団体間の情報共有・連携の推進を実施します。
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携して、麻生区特有の伝統・伝承文化の魅力を活かした事業を実施します。



kirara@アートしんゆり

農と環境を活かしたまちづくりの推進

6,521千円

- 区内の大学やその他の学校、農業事業者等と連携し、区内にある農業資源や緑地等の環境資源を活用して地域交流を推進します。特に、黒川地域では、黒川地域連携協議会の3つの専門部会が実施計画に基づいて、農業資源や緑地等を活用した地域活性化や里山保全利活用を推進します。
- 区民一人ひとりが取り組める身近なエコ活動を啓発し、地球温暖化対策、自然エネルギーについての講座等を開催します。



農業体験

高齢化への対応とすこやか・支え合いまちづくりの推進

3,566千円

- 地域包括ケアシステムの推進に向け、多様な主体との連携や地域資源を活用し、各地域の実情を踏まえた支え合いのモデル事業を立ち上げ、各種広報媒体やシンポジウム等を通じて紹介し、支え合いの活動を各地域に展開していきます。(拡充)
- 高齢者の健康づくりや閉じこもり予防等のため、公園を拠点にした健康体操・健康ウォークの普及や地域活動グループの立ち上げ及びグループ活動の活性化への支援を行います。



高齢者施設での多世代交流

安全・安心まちづくりの推進

6,992千円

- 災害に対する自助・共助(互助)を促進するため、自主防災組織等の区民による、実践的な訓練を実施します。生活用水等の不足に備えプールの水を利用できる浄水装置を導入し、避難所設備の充実を図るとともに宿泊訓練を実施します。
- 交通安全関連団体と連携し、街頭啓発活動、安全パトロール実施組織への支援、研修会、スクエアドストレート方式による交通安全教育、シルバードライビングスクール、「麻生区メール配信システム」の運用等を行います。



宿泊訓練

総合的な子ども・子育て支援の推進

7,336千円

- 麻生区・6大学公学協働ネットワークと連携し、映画づくりなどの体験学習やコンサート等、様々な子ども・子育て支援事業を行います。
- 子育て情報誌や子育てアプリ等による子ども・子育て支援の情報発信を行います。
- 子育てに役立つ講座や親子で楽しむイベントの開催、子育てサークルにボランティアを派遣する子育て人材バンク事業等を行います。
- 区内の子育て支援団体、大学等と行政が一堂に会し、子育て世代を対象にした子育てフェスタを開催し、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進します。
- 児童相談の関係機関や地域と連携し、児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。



映画づくり体験

コミュニティづくりの推進

15,306千円

- 市民組織が運営する「麻生市民交流館やまゆり」を区の市民活動支援拠点として位置づけ、市民活動の場や情報等を提供し、市民活動の一層の推進を図ります。
- 地域の担い手である町内会・自治会が行う事業を支援し、地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を図ります。
- 地域人材を発掘・育成し、市民活動・地域活動へつなげる仕組みづくりを進めます。



市民活動相談

スポーツのまち麻生の推進

2,660千円

- 川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業を実施するほか、あさおスポーツフェスティバルを通じて、区内で行われる各種スポーツ大会を支援します。
- スポーツ・健康ロードの活用や総合型地域スポーツクラブ運営支援事業等を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。



あさお区民運動会

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

419,468千円

- 麻生区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

100,663千円

- 麻生区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、また、施設補修等を行います。

上下水道局

<予算額>

問合せ先:財務課 200-3104 内) 45403

179,593,315千円 (対前年度比: +2.4%)

<主な事業>

安定給水の確保と安全性の向上

水道施設・管路の更新・耐震化事業の推進

14,767,837千円

- 基幹施設である末吉配水池、宮崎配水塔の更新や黒川配水池、潮見台配水池の耐震補強を進めます。
- 地震発生時の管路被害を抑制するため、市内の老朽化した管路や市立小学校等の避難所への供給ルートとなる管路を耐震管で更新します。(更新延長約40km)
- 応急給水拠点の利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、供給ルートとなる管路の耐震化が完了した小中学校等の水飲み場と配水池・配水塔を活用し、開設作業が不要な応急給水拠点の整備を計画的に進めます。



末吉配水池 更新工事



開設不要な応急給水拠点の設置



耐震管布設工事

給水管の更新・維持修繕事業の推進

2,863,272千円

- 漏水の主な原因となる老朽給水管を計画的に更新します。
- 漏水修理を的確かつ迅速に実施し2次災害を防ぎます。



漏水修理工事

工業用水道施設の整備事業の推進

1,937,393千円

- 基幹施設である長沢浄水場第2沈でん池の耐震補強を進めます。
- 老朽化対策として、水江町の配水管(3号配水支管)を更新します。

下水道による良好な循環機能の形成

下水道施設・管きよの地震対策事業の推進

3, 467, 339千円

- 老朽管が多く地盤の液状化による被害が想定されている川崎駅以南の地域の重要な管きよの耐震化や、その他の地域（川崎駅以北）の重要な管きよの耐震診断を推進します。
- 等々力水処理センターにおける耐震化工事などを推進します。
- 麻生～等々力水処理センター間の汚泥圧送管の二条化を推進します。

浸水対策・合流式下水道の改善事業の推進

3, 281, 508千円

- 浸水対策や合流改善対策など多様な機能を備えた大師河原貯留管の整備を推進します。
- 合流改善対策として六郷ポンプ場から大師河原ポンプ場をつなぐ、六郷遮集幹線の整備を推進します。
- 浸水シミュレーションに基づく新たな重点化地区の対策を進めます。
- 想定しうる最大規模の降雨に対し、地下街から人々を安全に避難させる取組の検討（川崎駅東口周辺の地区）を進めます。



大師河原貯留管の整備

高度処理事業の推進

6, 745, 573千円

- 入江崎水処理センター西系再構築事業（2/2 系列施設、沈砂池管理棟）を推進します。
- 等々力水処理センターの高度処理施設（流量調整池）の整備を推進します。



入江崎水処理センター西系再構築

下水道施設・管きよの適切な維持管理と老朽化対策及び未普及解消事業の推進

3, 594, 155千円

- 老朽管が多い入江崎処理区において、老朽管の布設替えや更生工法による再整備（約3.5 km）を推進するとともに、未普及地域の解消を推進します。
- 渡田ポンプ場の再構築や、水処理センター・ポンプ場などの各施設における機械・電気設備の長寿命化対策を推進します。



更生工法による再整備

※表内の図は完成予定のイメージです。

交通局

<予算額>

問合せ先: 経理課 200-3203 内) 47301

11,249,096千円

(対前年度比: +3.1%)

<主な事業>

市バスの輸送サービスの充実

運輸安全マネジメントの推進

14,010千円

○学校における交通安全教室の開催、自転車接触事故に対する注意看板の自転車駐輪場への設置などにより、事故の未然防止に取り組みます。

○ドライブレコーダーを活用し、発生した事故の要因分析等を行い、今後の事故再発防止に取り組みます。

○日本バス協会による「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の認定に向けた申請を行い、安全性の確保に対する取組状況の評価を受けることにより、利用者等へのPRを行うとともに、職員の安全意識の向上を図ります。



認定マーク (見本)

市バスネットワークの推進

55,668千円

○「登戸駅」から「菅生車庫」まで運行していた路線について、「宮前区役所」まで延伸し、宮前区役所へのアクセス向上に取り組みます。(拡充)

○北部地域の輸送需要への対応として、市の拠点駅である「溝口駅」と「新百合ヶ丘駅」を結ぶ路線を新設し、市民の利便性向上や災害時の輸送力強化に取り組みます。(拡充)

○「向ヶ丘遊園駅」と「たまプラーザ駅」を結ぶ路線について、28年度に実施している社会実験の検証結果を踏まえ、本格運行に向けた取組を推進します。(拡充)

○ダイヤ編成に使用するシステムの機器更新を実施します。

お客様サービスの推進

9,312千円

○添乗観察及びドライブレコーダーを活用し、その結果に基づく改善指導を行い、サービスの向上に向けて取り組みます。

移動空間の快適化

1,199,575千円

○バリアフリー及び環境に配慮した、バス車両の更新を計画的に実施します。

- ・ハイブリッドノンステップバス 2両
- ・ノンステップバス 3両

○停留所等における市バス運行情報の提供の充実に取り組みます。(拡充)

- ・停留所運行情報表示器の多言語化 (英語)
- ・停留所運行情報表示器の増設
43か所→56か所 (13か所増)



停留所運行情報表示器の多言語化 (イメージ)



○お客様への快適なバス待ち空間の提供に向けて、バス停留所施設（標識及びベンチ一体型の停留所上屋等）を計画的に整備します。

- ・ 停留所上屋 8基、照明付停留所標識 20基、停留所ベンチ 50脚

事業基盤の強化に向けた取組の推進

566,678千円

○正規運転手・公募嘱託運転手・整備職員の計画的な採用に向けて、効果的な情報発信や採用選考等を実施します。

○上中間営業所について、建替整備を実施します。

- ・ 営業所新築工事等

経営力の強化に向けた取組の推進

2,174,753千円

○管理委託営業所を変更し、委託規模を拡大することにより、経営の効率化を図るとともに、お客様の利便性向上に向けた取組を推進します。（拡充）

- ・ 上中間営業所及び井田営業所の管理委託

○貸切バス、ラッピングバス、車内広告等の収益事業を推進します。

地域貢献の推進

12,346千円

○「ハローキティ」と市バスキャラクター「ノルフィン」とのコラボレーションによる事業を展開します。

- ・ キャラクターコラボデザインで彩ったラッピングバス（合計10両）の市内全域での運行
- ・ キャラクターコラボデザインによる車内啓発ポスターの掲示
- ・ コラボグッズの作製・販売
- ・ 運転手等職員のピンバッジ着用（クールビズ期間は缶バッジ着用）

○ギャラリーバスとして、市内小学校児童による絵画作品の掲出（各区2両計14両）及び区役所で主催する絵画コンクール作品の掲出（3両）を実施します。

○ハロウィンとクリスマスのシーズンに、バス車両の装飾を近隣の小学校児童が参加して行い、期間限定で装飾バスによる路線運行を実施します。



ハロウィンバス



クリスマスイルミネーションバス

経営計画の推進

39,915千円

○市バス全路線について、乗降調査を実施し、経営計画の策定に向けた取組を進めます。（新規）

○専門的見地からのアドバイスや利用者からの意見を聴き、事業運営に活用します。

病 院 局

<予 算 額>

問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

39,503,363千円 (対前年度比:△1.5%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

経営健全化の推進

251,125千円

○市立病院が公立病院としての使命と役割を果たし、市民から信頼される安全で安心な医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、新公立病院改革プランに位置付ける「川崎市立病院中期経営計画 2016-2020」(計画期間:28~32年度)を着実に推進し、更なる医療の質の向上と経営の健全化に取り組みます。

川崎病院の運営

9,583,577千円

○救急搬送患者(特に三次救急患者)の受入れや、小児救急医療・周産期医療等を継続的かつ安定的に提供するため、市の基幹病院として高度急性期医療を着実に担う体制を確保するとともに、高齢化の進展に伴う救急等医療需要の増加に対応するため、必要な医療機能の再編整備について検討し、基本計画を策定します。

○全身のがんなどを一度に検査することができるPET-CT装置を市の南部地域で初めて導入し、がん診療機能を強化するとともに、これまで市外で検査を受ける必要があった市民の利便性の向上を図ります。(拡充)

○地域医療支援病院として、地域の医療機関と顔の見える関係を構築し、役割分担を進めるなど、地域医療連携の更なる取組を推進し、高度かつ専門的な医療を提供します。



川崎病院

○医療人材の選択と集中により、脳卒中などの脳血管疾患における急性期医療の充実及び、効率的・効果的な診療体制の構築を図るため、井田病院の脳神経外科医を川崎病院に集約し、新たに「高度脳神経治療センター」を開設します。
なお、井田病院の脳神経外科については、川崎病院との兼務体制により、現状の診療を継続します。

井田病院の運営

4,691,044千円

- 近年増加する前立腺がんに対応するため身体的負担のより少ない低侵襲で合併症リスクの軽減が可能な手術支援ロボット「da Vinci (ダヴィンチ)」の運用や、がんサロンの開催など、引き続きがん患者やその家族を支援する取組を推進し、地域がん診療連携拠点病院として質の高いがん医療を提供します。
- 地域の中核病院として高度・専門的な医療を提供するため、地域の医療機関との役割分担により地域医療連携を推進します。



井田病院



井田病院改築工事の推進

835,335千円

- 井田病院の改築工事は、3期工事として立体駐車場等の整備を進めており、29年度に供用を開始する予定です。その後、速やかに斜面防護等の工事に着手します。

井田病院再編整備	27年度	28年度	29年度	30年度
スケジュール	▲全面開院(383床)			
	← 3期工事 →			⇨ 斜面防護等工事 ⇩
	3号棟解体			

多摩病院の運営管理

794,467千円

- 学校法人聖マリアンナ医科大学を指定管理者として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療、アレルギー医療等を提供します。
- 災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として地域のかかりつけ医等と連携を進めることにより、地域全体の医療供給体制の向上を図ります。
- 抗がん剤治療などの薬物療法を充実させるため、29年4月に腫瘍内科を開設します。



多摩病院

特別会計予算

本市の予算は、一般会計のほかに、主に特定の収入をもって特定の事業を行う場合で、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。

ここでは、特別会計で実施している事業を御紹介します。

競輪事業

22,005,877千円

【所管局：経済労働局】

○包括的な業務委託の導入により民間ノウハウを活用した競輪事業の運営及び再整備事業を推進し、持続可能な事業運営の確立に努めることで、市財政への継続的な貢献を図ります。

- ・年12回47日 開催予定

卸売市場事業

2,127,421千円

【所管局：経済労働局】

○市場使用料、施設使用料等により、「川崎市卸売市場経営プラン」に基づいた施策の推進や、「屋上防水工事」、「シャッター更新工事」等の老朽化対策を図ります。

- ・北部市場(中央卸売市場)、南部市場(地方卸売市場)

国民健康保険事業

148,974,957千円

【所管局：健康福祉局】

○国民健康保険料等により医療保険の給付等を行います。

- ・被保険者数(年平均) 295,000人

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

484,706千円

【所管局：こども未来局】

○貸付金元利収入等により母子父子寡婦世帯に対する修学資金等の貸付を行います。

後期高齢者医療事業

14,419,734千円

【所管局：健康福祉局】

○75歳以上の高齢者等を被保険者とする後期高齢者医療制度を、神奈川県後期高齢者医療広域連合と連携して実施します。

- ・被保険者数(年平均) 132,379人

公害健康被害補償事業

101,423千円

【所管局：健康福祉局】

○一般財団法人川崎市公害対策協力財団からの拠出金を主な財源として、大気汚染の影響による健康被害に係る補償を行うとともに、被害者及びその遺族の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として、必要な事業を行います。

- ・被認定者数(年平均) 1,307人

介護保険事業

94,263,107千円

【所管局：健康福祉局】

○介護保険料等による要介護認定者等の介護サービス利用に係る保険給付等を行います。

- ・第1号被保険者数（年平均） 304,980人

港湾整備事業

2,360,059千円

【所管局：港湾局】

○港湾施設使用料や財産収入等により、上屋、港湾共同事務所、コンテナターミナル等の港湾施設の整備及び管理運営を行います。

勤労者福祉共済事業

106,598千円

【所管局：経済労働局】

○会員からの共済掛金収入等により、給付や福利厚生事業等を行います。

- ・加入者数（年平均） 11,988人

墓地整備事業

376,737千円

【所管局：建設緑政局】

○墓地使用料等により、墓地（緑ヶ丘霊園・早野聖地公園）の整備を実施します。

- ・壁面型墓所（164か所）の整備等

生田緑地ゴルフ場事業

528,298千円

【所管局：建設緑政局】

○利用料収入により生田緑地ゴルフ場（多摩区）の整備・管理を実施します。

- ・カート道路補修工事、管理用通路斜面安全対策工事等



生田緑地ゴルフ場

公共用地先行取得等事業

3,854,039千円

【所管局：財政局】

○将来、公園や道路などの公共事業に供する用地の先行取得、及び先行取得した用地の維持管理を行い、円滑な事業の実施を図ります。

公債管理

215,699,923千円

【所管局：財政局】

○川崎市債の発行・償還（元金の償還及び利子の支払い）を行います。

○将来の元金償還に備え、減債基金への積立を行います。